

# 住まいづくり 特別セミナー

## 健康・省エネ住宅のあるべき姿

～これからの健康・省エネ住宅とは何か～



**Toshiharu IKAGA**  
理工学部システムデザイン工科大学院  
理工学研究科開放環境科学専攻  
空間・環境デザイン工学専修

1959年3月東京都生まれ。博士(工学)。  
早稲田大学高等学院、早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了。  
株日建設計、東京大学助教授を経て2006年より現職。  
専門分野は建築環境工学。博士(工学)。日本学術会議連携会員、日本建築学会理事、日本LCA学会理事。内閣官房、国土交通省、文部科学省、経済産業省、環境省、厚生労働省などの建築関連政策に関する委員を務める。  
共著に、「CASBEE入門」、「建築と知的生産性」、「健康維持増進住宅のすすめ」、「熱中症」、「LCCM住宅の設計手法」、「最高の環境建築をつくる方法」ほか多数。

### 人体・部屋スケール

実測や被験者実験を通して居住者の健康性、  
執務者の知的生産性向上の方策を探索



IKAGA Lab. KEIO

講演 慶應義塾大学教授 伊香賀 俊治

主催 こうべKANSAI住環境協議会

後援 神戸市 後援 神戸新聞社

9/25 金 午後 3:30 ▶ 6:00  
神戸市教育会館

実測や被験者実験を通して居住者の健康性などを探究されてきた伊香賀教授。住宅性能や生活習慣、内装材などによって入浴事故の発生率や睡眠効率、学習効率など健康性や快適性におけるさまざまな面で大きな違いが生まれています。住宅仕様や住まい方が熱中症リスクに及ぼす影響や、夏季の温熱環境制御が省エネと睡眠に与える影響、総合的な室内環境の向上が睡眠に及ぼす影響、住宅性能や室内音熱環境が冬季の家庭血圧に及ぼす影響などの研究に基づき、居住者の主観申告に基づく住環境の健康影響評価ツールの開発を通して、居住者の健康性を高める住環境が明確となりました。

また、実測や現地調査を通して、省エネかつ快適なネット・ゼロ・エネルギーハウスの実現に向けた研究も行われています。

『健康に、安全に暮らせる住まいとは?』の答えが見つかるかもしれません。ぜひ、ご参加お申し込みをお待ちしております。

フリガナ： ( )才	携帯番号： ( ) —
お名前： ( )	電話番号： ( ) —
ご住所： 〒	
参加人数： ( )人	※幼いお子様がいらっしゃる場合は事前にご連絡をください。 ご希望であれば保育係を待機させます。
企業名： ( )	

**お申し込み方法**  
● FAXにて送信ください **FAX 0120-939-958** (24時間対応)  
ファックスでお申込みの方は、上記をご記入の上、切り取り線にそって切り、送信してください。

● お電話の方は上記項目をご連絡ください。  
**0120-666-558** (受付時間) 9:30~18:00 ※水曜・日曜 定休日

● メールにてお申込の場合は、  
**info@ssl-japan.com** まで上記項目を入力の上、送信ください。

主催 / こうべ KANSAI住環境協議会：〒651-0083兵庫県神戸市中央区浜辺通5丁目1-14  
神戸商工貿易センタービル1801号

